

令和5年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：大阪府立漕艇センター

評価項目	評価基準（内容）	評価委員会の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
<p>I 提案の履行状況に関する項目 (3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果</p>	<p>②年間の広告・広報計画等の情報発信の取り組み</p>	<p>ホームページの更新頻度が低く、定期的なメンテナンスが行われていないと見受けられる。また、ボート教室の案内など初心者が参加するには分かりづらい。構成の見直しや管理体制など根本的な見直しが必要である。</p>	<p>広報担当理事による管理体制を整え、情報の更新等定期的なメンテナンスを着実にを行う。自主事業への参加案内については、競技未経験者にも教室の内容や初心者マニュアル等の情報の開示、府内体育施設やスポーツジムへのチラシや掲示用貼紙の配布、各種イベントメーリングリスト管理者やコミュニティペーパーへの情報提供やSNSの活用など、水上スポーツに関心を有する層に情報が届くよう工夫する。なお、ホームページ構成の見直しについては、必要に応じて施設所管課の助言等を受ける。</p>	<p>広報担当理事のもとで実務を行う担当者を決め、定期的な更新チェックなど作業手順を定めるなど管理体制を再構築する。</p> <p>以下の方法により水上スポーツに関心を有する層に情報を届け、自主事業のボート教室への参加希望者を募る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の内容や初心者マニュアル等の情報のホームページへの掲載 ・府内体育施設やスポーツジム等へのチラシや掲示用貼紙の配布 ・各種イベントメーリングリスト管理者への情報提供 ・SNSを活用したボートイベントや施設情報の発信